

平成30年7月23日

文化財課

担当 指定文化財係

0742-34-5369

文化財建造物の登録の答申について

平成30年7月20日（金）に、国の文化審議会において文化財建造物の新規登録について答申があり、その中に奈良市内の教育大学前の町家、木奥家住宅巽蔵および池川家住宅主屋ほか3件が含まれました。

この結果、後ほど行われる官報告示を経て、奈良市内の登録有形文化財（建造物）の総数は、101件となる予定です。

教育大学前の町家・木奥家住宅異蔵 位置図



教育大学前の町家（きょういくだいがくまえのまちや）

所在地	奈良市紀寺町（ならしきでらちょう）
建築年代	昭和15年／平成27年改修
構造・形式・規模	木造平屋建、瓦葺、建築面積59㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

奈良町南東部の紀寺町に位置し、昭和15年(1940)に貸家の住宅地として開発された一角にあります。袋小路の両側に8棟建てられた貸家のうちの1棟です。一般的な貸家形式である長屋とせず、南北に通る袋小路に妻面を向けた切妻造平入の独立棟とし、北面と南面に庭をとる配置計画に特徴があります。

通り土間がなく玄関の間を設ける点は、従来の伝統的な奈良の町家にはない特徴で、床(とこ)付きの座敷を構え、ガラスの建具を縁先に用い、路地側に狭い土間の台所(※1)を設けるなど、戦前の貸家の姿をよく伝えています。

※1 現在は床張り



教育大学前の町家 外観

木奥家住宅 巽蔵 (きおくけじゅうたく たつみぐら)

所在地	奈良市芝新屋町 (ならししばのしんやちょう)
建築年代	弘化2年(1845)／昭和32年頃・平成24年改修
構造・形式・規模	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積86㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

奈良町中心部の大規模な町家に付属する土蔵です。主屋(※1)とともに通りに面して長大な屋敷構えを構成しています。東側の通りに妻面を向けて建つ切妻造平入の土蔵で、東西北3面に下屋を廻します。外壁は漆喰塗で、上部には段を設けて飾り、2階妻面の窓の庇や持ち送りなども漆喰で丁寧に仕上げています。

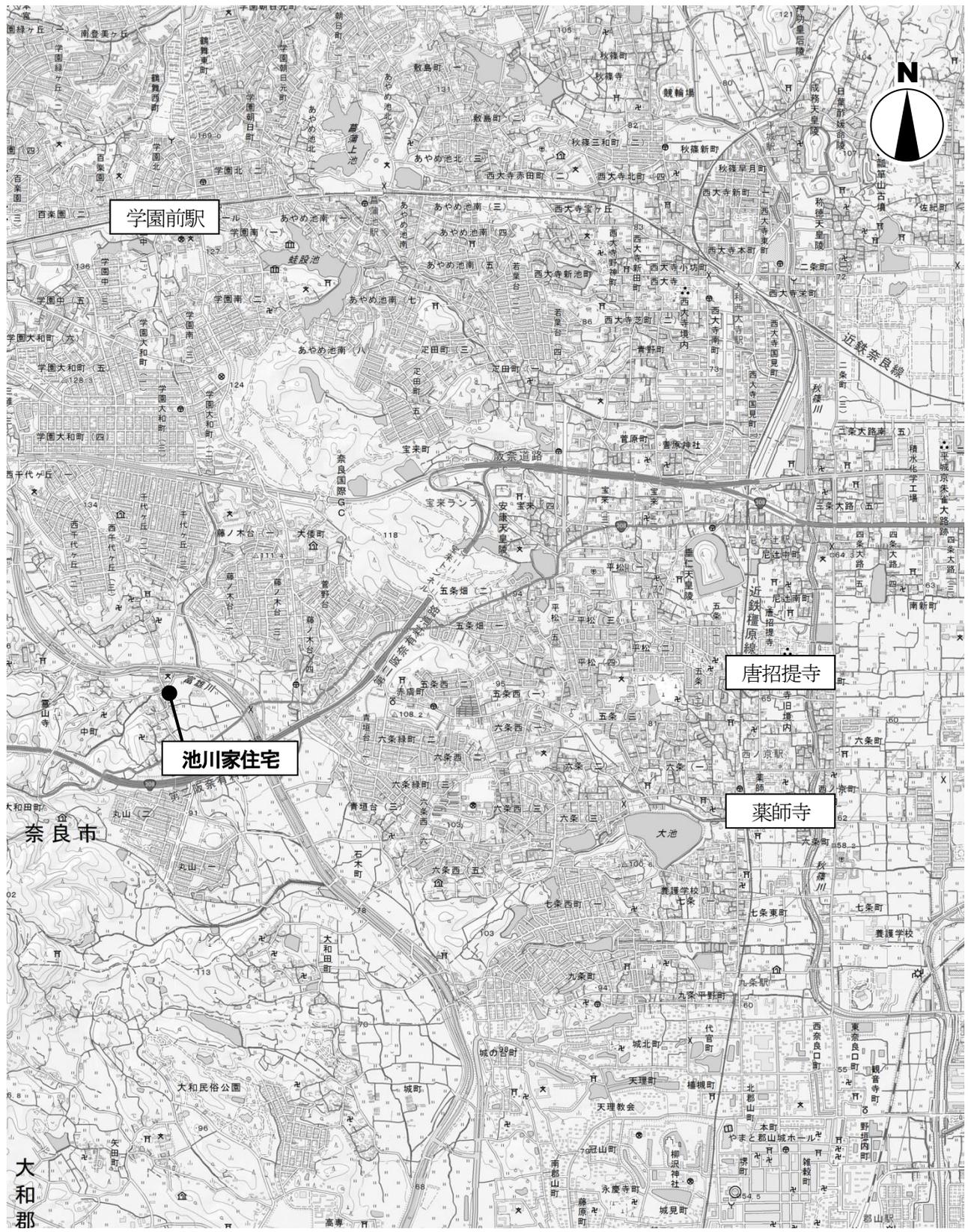
奈良町の中でも比較的規模が大きく、漆喰塗の装飾や屋号の妻飾り等、風格のある構えの蔵です。また、棟札から弘化2年(1845)の建築と判明しており、建築年代が明確な蔵としても貴重です。

※1 主屋は平成25年に国の登録有形文化財に登録されています。



木奥家住宅 巽蔵 外観

池川家住宅 位置図



池川家住宅 主屋 (いけかわけじゅうたく しゅおく)

所在地	奈良市中町 (ならしなかまち)
建築年代	昭和42年/平成8年・同24年改修
構造・形式・規模	木造2階建、瓦葺、建築面積161㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

池川家住宅 離れ (いけかわけじゅうたく はなれ)

所在地	奈良市中町 (ならしなかまち)
建築年代	昭和前期/平成8年改修
構造・形式・規模	木造平屋建、瓦葺、建築面積45㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

池川家住宅 東蔵 (いけかわけじゅうたく ひがしぐら)

所在地	奈良市中町 (ならしなかまち)
建築年代	昭和前期/平成22年改修
構造・形式・規模	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積19㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

池川家住宅 西蔵 (いけかわけじゅうたく にしぐら)

所在地	奈良市中町 (ならしなかまち)
建築年代	昭和前期/平成8年・同22年改修
構造・形式・規模	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積19㎡
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

池川家住宅は、奈良市の西部を流れる富雄川沿いに位置する和風住宅です。

敷地の南側、県道に南面して建つ主屋は、入母屋破風を多用した特徴的な外観で、中廊下を用いた平面構成、数寄屋風を基調とした内部の意匠、新建材の使用等が、建てられた時代の特徴をよく示し、昭和後期初頭の和風住宅の好例として価値があります。

主屋の北側に建つ離れは、庭に面して縁を廻し、座敷飾りや欄間の彫刻、花頭窓(かとうまど)など、趣向を凝らしたつくりです。

東蔵と西蔵は漆喰で仕上げられた丁寧なつくりで、特に西蔵は正面の腰を海鼠壁(なまこかべ)とし、戸口廻りに漆喰彫刻を施すなど、華やかな意匠です。離れとともに、近代における奈良の民家の屋敷構えを伝えています。



池川家住宅 主屋 外観



池川家住宅 離れ 外観



池川家住宅 東蔵 外観



池川家住宅 西蔵 外観